

脳神経疾患画像診断レクチャー

疾患の基礎知識，画像を見るときのポイントなど
脳神経疾患画像にまつわるナーズの素朴な疑問に
1問1答形式でズバットお答えします！



企画

土屋一洋 (杏林大学医学部 放射線医学教室 准教授)

つちや・かずひろ：1980年 北海道大学医学部卒業，
同年 東大附属病院 放射線科 研修医，1981年 同 助
手，1984年 公立昭和病院 放射線科 科長，1985年
防衛医科大学校 放射線医学教室 助手，1993年 杏林
大学医学部 放射線医学教室 講師を経て，2000年よ
り同 助教授 (2007年より准教授)。

執筆 藤川 章 (自衛隊中央病院 放射線科)

第12回

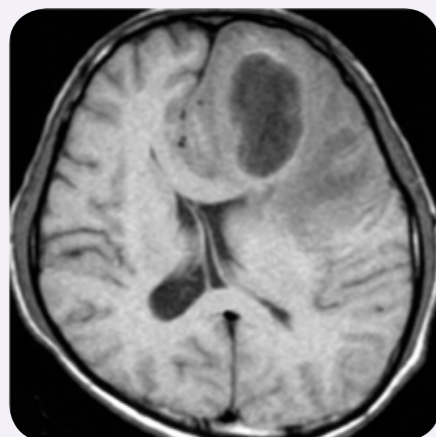
髄膜炎 / 脳膿瘍

1 脳膿瘍

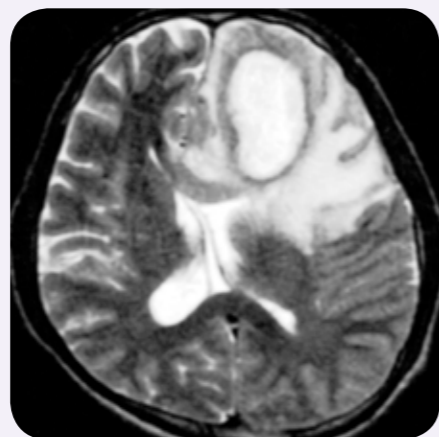
症例 25歳の男性

発熱と頭痛をきたして来院。

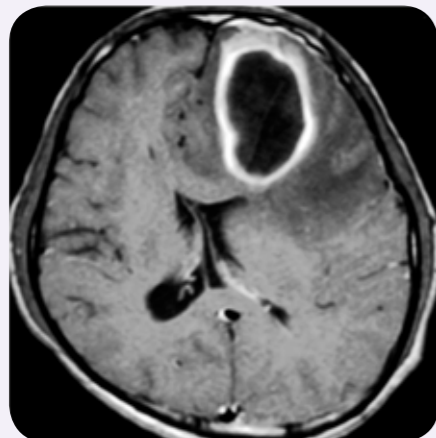
MRI T1 強調像



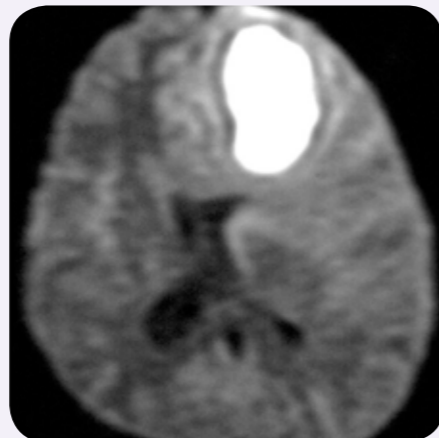
MRI T2 強調像



MRI 造影 T1 強調像

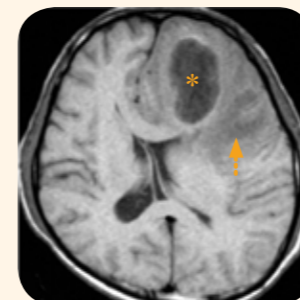


MRI 拡散強調像



画像所見

MRI T1 強調像



左前頭葉に膿瘍 (*) と周囲の浮腫 (->) があり，正中構造が右へ偏位している。

MRI T2 強調像



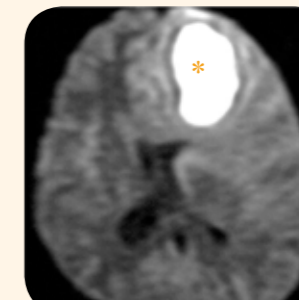
膿瘍壁は低信号帯 (->) として認められる。

MRI 造影 T1 強調像



膿瘍壁は増強効果を呈する (->)。

MRI 拡散強調像



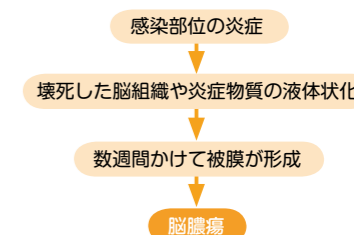
膿瘍内は著明な高信号を呈する (*)。

Q1



脳膿瘍はどのようにしてできるのですか？

脳膿瘍は脳実質に病原体（ほとんどの場合化膿性細菌）が感染し，膿状の滲出液が局所に溜まるものです。最初は感染部位の炎症から始まり，壊死した脳組織や炎症物質が液体状になり，それらを包む被膜が数週間かけて形成され，脳膿瘍が完成します。その間に画像所見が変化していくので，脳腫瘍の所見に類似することもあります。



Q2

どのように脳に感染するのですか？

約1/2は脳に接する耳鼻科・歯科領域（副鼻腔炎，中耳炎，う歯）や脳外科術後部位からの直接的な感染波及です。約1/3は血行性感染で，敗血症，肺感染症，心臓弁置換後，右左シャントを有する先天性心疾患などが原因となります。感染源が不明なこともしばしばです。

